

## ■会告

## ■日本放射光学会第102回評議員会議事録

日時：2014年4月12日(土) 14:00~16:00

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス 大会議室

出席者：足立純一，雨宮慶幸，石川哲也，大橋治彦，岡島敏浩，尾嶋正治，加藤政博，鎌田雅夫，木村昭夫(編集幹事)，木村真一，組頭広志，小杉信博，佐々木聡，繁政英治，辛 埴，大門 寛，高田昌樹，竹田美和，田中 均，中井 泉，中尾裕則，原田慈久，藤森 淳，水木純一郎，村上洋一(会長)，山本雅貴，足立伸一(庶務幹事)，木下豊彦(会計幹事)，篠原佑也(行事幹事)，濱 広幸(渉外幹事)

欠席者：太田俊明，松田 巖，矢橋牧名，山田和芳

事務局：佐藤亜己奈(WORDS)，西野三和子(WORDS)

0-1. 足立庶務幹事より，第7代会長の井口洋夫先生がご逝去されたとの報告があった。

0-2. 村上会長より，福山先生(東理大)を議長とする神楽坂会議について報告があり，会議のコミュニケが紹介された。

## 〈審議事項〉

- 高輝度中型放射光源計画委員会について  
高輝度中型放射光源計画委員会委員長である水木評議員より，委員会メンバー案，審議内容，スケジュールについて説明があり，これを承認した。委員会ではまず審議内容を議論し，SPRUC白書・PF-UA白書を参考にして議論を進める。6月中旬には中間報告をまとめ，次回評議員会で取りまとめ内容を報告し，秋には最終報告をまとめる予定とした。
- 常設サイエンスボードの設置について  
村上会長より，放射光科学の健全な発展を図るために，ユーザーの動向と施設の現状を的確に把握し，将来計画に関する適切なアドバイスを行う常設のサイエンスボード(諮問委員会)を設置することについて提案があった。審議の結果，サイエンスボードの位置づけや構成メンバーも含めて継続して検討を進め，次回以降の評議員会にて審議することとした。
- 量子ビーム連携(中性子科学会との連携)について  
村上会長より，中性子科学会との連携の可能性について検討している旨の報告があった。中性子科学会だけでなく，放射光をツールとして利用する関連学会との幅広い連携も視野に入れ，具体的な連携の目的や連携内容について継続して検討し，次回以降の評議員会にて審議することとした。
- 先端光源に関する研究会について  
村上会長より，先端光源に関する研究会について，分子研究会として10月以降に開催予定との説明があった。研究会の位置づけに関する審議を行い，濱渉外幹事と加藤評議員に企画をお願いし，研究会の内容について検討を進めることとした。

- 特別賛助会員の位置づけとメリットの再検討  
足立庶務幹事より，特別賛助会員の位置づけとメリットを明確化し，特別賛助会員数の増加を図りたい旨の提案があった。位置づけとメリットの明確化のため，年会・合同シンポ共催団体を「特別賛助会員である団体」と「特別賛助会員でない団体」に分け，特別賛助会員である共催団体の職員・会員に年会参加費の優遇制度を設けることが提案された。審議の結果これを承認し，これに伴う定款の変更などの取り組みを進めることとした。また，まだ特別賛助会員でない団体に入会を働きかけるとともに，既に会員となっている団体にも口数の増加を働きかけることとした。
- 学会誌完全電子化に伴うコストについて  
木村編集幹事より，これまで学会誌の2色刷りから完全電子化を目指して検討を続けてきたが，完全電子化は会誌広告収入の減額につながり，現状より収支悪化が見込まれるため，現在検討しているホームページ企業広告等，会誌広告収入に代わる収入の推移を見つつ，しばらくは完全電子化を延期し，2色刷りを継続したいとの提案があった。審議の結果これを承認し，今後の完全電子化までのスケジュールについて改めて検討することとした。
- 名誉会員の推薦について  
足立庶務幹事より名誉会員推薦の流れについて説明があり，次回評議員会を目的に名誉会員候補者の推薦を検討して欲しい旨の要請があった。
- 男女共同参画関係  
男女共同参画学協会連絡会(12期)から「男女共同参画学協会連絡会第三回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査解析報告書」を踏まえた要望書について確認依頼があった。要望書を確認し，オブザーバー学会としてこれを承認することとした。
- 会員異動  
足立庶務幹事より，第101回評議員会以降の入退会申請者に関して，入会：正会員3名(うち学生会員0名)，シニア会員1名，特別賛助会員1団体1口の報告があり，これを承認した。退会に関して，退会：正会員24名(うち学生会員13名)を確認した。2014年4月12日現在での総会員数は1,337名(うち学生会員128名)，名誉会員5名，シニア会員24名，賛助会員42社(44口)，特別賛助会員10団体(11口)。また，会費3年間未納のための自動退会者22名を確認した。
- 協賛・後援  
足立庶務幹事より本学会に対する協賛，後援依頼について報告があり，協賛10件，後援2件を承認した。

## 〈報告事項〉

- 学会の英語ホームページ整備について  
濱渉外幹事より，学会の英語ホームページについて渉外委員

会で検討し、トップページや活動内容等、主要なページの英語版を作成し公開したとの報告があった。

2. 2015年世界光年対応について  
足立庶務幹事より、2015年世界光年に関して日本物理学会に確認したところ、日本学術会議 International Commission for Optics 分科会が国内の窓口となることが分かったとの報告があった。4月中旬までに ICO 分科会で今後の進め方について審議されるようなので、その結果を受けて学会としての対応を検討することとした。
3. 次期評議員選挙について  
足立庶務幹事より次期評議員選挙のスケジュール、依頼文が示され、これを確認した。尚、選挙担当は藤森評議員をお願いをすることとした。
4. 第19回学会奨励賞公募について  
足立庶務幹事より第19回学会奨励賞の応募要綱が示され、これを確認した。
5. JSR14報告、JSR2015準備状況  
篠原行事幹事より第27回年会・合同シンポ（JSR14）および市民公開講座の参加者数、収支などについて報告があった。また、2015年1月10日（土）-12日（月）に立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催される第28回年会・合同シンポ（JSR2015）の準備状況について報告があった。
6. 第6回若手研究会準備状況  
篠原行事幹事より、第6回若手研究会の公募に対して3件の応募があり、4月14日に審査委員会を行い、採否を決定するとの報告があった。
7. 第6回放射光基礎講習会準備状況  
篠原行事幹事より第6回放射光基礎講習会「初心者のための放射光入門講座（案）」の準備状況について報告があった。開催日は8月1日-2日、場所は東京大学工学部6号館63号講義室。
8. 会誌編集状況  
木村編集幹事より会誌編集進捗状況について報告があった。27巻6号に世界結晶年関連の特集記事を掲載予定。

9. 平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞について  
当学会から推薦をしていた尾嶋正治氏（東京大学）が研究部門で平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞したとの報告があった。業績名は「放射光利用ナノ分光法及びオペランド電子状態解析法の研究」。

#### 評議員会日程（予定）の確認

第103回評議員会 2014年7月12日（土）  
場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

#### ■会員異動

##### 第102回評議員会（2014年4月12日）で承認

##### 《正会員入会》

Harries James 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門

木須 孝幸 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻物性物理学領域関山研宗室

徳久 淳師 理化学研究所 計算科学研究機構 研究部門 計算構造生物学研究ユニット

以上3名

##### 《シニア会員入会》

小林 克己 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所物質科学第2

以上1名

##### 《特別賛助会員入会》

公立大学法人兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所（1口）

以上1団体1口

##### 《退会会員》

正会員11名、学生会員13名

##### 《会員数》

会員1337名（内学生128名） 名誉会員5名 シニア会員24名

賛助会員42社（44口） 特別賛助会員10団体（11口）

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2014年 6/4-5	第57回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	大阪大学コンベンションセンター	公益社団法人日本表面科学会 E-mail: shomu@sss-j.org	27・2
6/6	実用顕微評価技術セミナー2014	東京大学 小柴ホール	公益社団法人日本表面科学会 E-mail: KAREN.Akiya@nims.go.jp	27・3
7/4	SPring-8 利用推進協議会 グリーンサステイナブルケミストリー研究会 (第2回)	研究社英語センタービル地下2階大会議室	SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 E-mail: suishin@spring8.or.jp	27・3
7/6-9	第14回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8 キャンパス	(公財)高輝度光科学研究センター, (独)理化学研究所, (独)日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学, 北陸先端科学技術大学院大学 E-mail: 2014summerschool@spring8.or.jp	27・2
7/11-12	PF 研究会「次世代放射光源で期待される XAFS を活用したサイエンス」	高エネルギー加速器研究機構 4号館 1F セミナーホール	高エネルギー加速器研究機構 放射光科学研究施設 E-mail: masao.kimura@kek.jp	27・3
7/25	第42回 薄膜・表面物理セミナー (2014) 構造物性解明へ向けたマイクロ～マクロ計測の最前線	東京大学本郷キャンパス 山上会館	公益社団法人応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: oda@jsap.or.jp	27・3
7/28-31	International Workshop on Nanoscale Spectroscopy and Nanotechnology (NSS-8)	シカゴ	<a href="http://nss-8-chicago.aps.anl.gov/">http://nss-8-chicago.aps.anl.gov/</a>	27・3
9/1-3	第17回 XAFS 討論会	徳島大学総合科学部	日本 XAFS 研究会 E-mail: takashi-yamamoto.ias@tokushima-u.ac.jp	27・3
9/2-5	第54回 (2014年度) 真空夏季大学	ヤマハリゾートつま恋	一般社団法人日本真空学会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	27・3
9/13-14	SPring-8 シンポジウム2014「New dimension of Science and Technology using SPring-8」SPring-8 による科学・技術の新次元	東京大学本郷キャンパス 弥生講堂/一条ホール他	SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC), (公財)高輝度光科学研究センター, (独)理化学研究所, (国)東京大学 <a href="http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2014/sp8sympo2014/">http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2014/sp8sympo2014/</a>	27・3
9/14-18	LEEM/PEEM-9	ベルリン	<a href="http://www.fz-juelich.de/pgi/EN/Leistungen/ConferencesAndWorkshops/LEEMPEEM-9/_node.html">http://www.fz-juelich.de/pgi/EN/Leistungen/ConferencesAndWorkshops/LEEMPEEM-9/_node.html</a>	27・3
10/2-6	The 7th International Symposium on Surface Science (ISSS-7)	松江	<a href="http://www.sssj.org/iss7/">http://www.sssj.org/iss7/</a>	27・3
11/4-7	第27回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (MNC2014)	ヒルトン福岡シーホーク	公益社団法人応用物理学会 E-mail: secretariat@imnc.jp	27・2
11/22-24	第55回高圧討論会	徳島大学常三島 (じょうさんじま) キャンパス	日本高圧力学会 E-mail: touronkai55@highpressure.jp	27・3

## ■実用顕微評価技術セミナー2014

日本表面科学会では、ナノ材料・デバイスの評価技術として重要な電子顕微鏡・走査プローブ顕微鏡を軸に、関連する新しい顕微評価技術の展開と促進を図り産業界に貢献するため、昨年より実用顕微評価技術セミナーをスタートさせました。本セミナーでは機器メーカーと分析会社の協力により、口頭発表とポスター展示を併設して、各種材料・デバイスの顕微評価・解析の向上に役立つ最新技術やノウハウを紹介し、情報交換の場を提供いたします。昨年は約20社の企業出展のご協力のもと、約140名のご来場者の中で活発な交流が行われました。今回も広く多くの方に参加いただくよう参加費を無料といたします。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

主催：公益社団法人 日本表面科学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2014年6月6日(金) 10:00-17:30

場所：東京大学 小柴ホール（東大本郷キャンパス・理学部1号館内）

問合せ先：

加連明也(御物質・材料研究機構)

E-mail：KAREN.Akiya@nims.go.jp，TEL：029-860-4760

URL：http://www.sssj.org/

## ■SPring-8 利用推進協議会 グリーンサステナブルケミストリー研究会（第2回）

本研究会は、「グリーンサステナブルケミストリー（GSC）」を環境にやさしく持続成長可能な循環型社会を実現するための化学技術と定義し、環境負荷が小さく高効率な次世代触媒などGSCに関わる物質・材料の構造と機能の原子・分子レベルにおける科学的解明を行い、それに基づいてGSC分野の着実な進展を支援することを目的としています。

今回の研究会では、エネルギー関連材料に注目し、リチウムイオン電池、燃料電池、水素に関わる材料の開発および放射光を利用したキャラクタリゼーションなどについて紹介します。

主催：SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会

共催：(公財)高輝度光科学研究センター（JASRI）

協賛：日本放射光学会，他

日時：2014年7月4日(金)

場所：研究社英語センタービル地下2階大会議室

参加費：無料

定員：70名（聴講無料，定員になり次第締め切ります。）

申込締切：2014年6月25日(水) 17:00まで

研究会HP：http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/htm/text/14file/gscheme/2nd/index.html

申込方法：下記申し込みページよりお申し込みください。

[https://support.spring8.or.jp/event/gsc\\_140704\\_form.html](https://support.spring8.or.jp/event/gsc_140704_form.html)

E-mailまたはFAXでお申し込みの際は、以下の必要事項をご記入のうえ、下記申し込み先アドレスへお送りください。

なおその際は、件名：『グリーンサステナブルケミストリー研究会』を明記してください。

(1)氏名(カナ)，(2)所属機関名，(3)所属部署名(学科)，(4)職名

(学年)，(5)郵便番号・住所，(6)e-mail，(7)電話番号，(8)FAX番号，(9)交流会の参加の有無

問合せ先：

(公財)高輝度光科学研究センター

研究調整部 SPring-8 利用推進協議会事務局

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

TEL：0791-58-0924，FAX：0791-58-0830

E-mail：suishin@spring8.or.jp

ホームページ：

<http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/htm/text/>

[14file/gscheme/2nd/index.html](http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/htm/text/14file/gscheme/2nd/index.html)

## ■PF 研究会「次世代放射光源で期待される XAFS を活用したサイエンス」

現在、放射光を利用した XAFS 研究環境の高度化、多様化が進行している。既存の放射光施設でも最新光学素子や計測技術を導入したビームラインの高度化、挿入光源による高輝度と高フラックスを最大限に活かしたビームラインの建設が進んでいる。地域密着型の中小規模放射光源も整備が進む一方、加速器そのものの性能を上げた次世代放射光源の建設計画が具体的に検討されている。

本研究会では、このような状況の中、高度化・多様化する光源性能を最大限に活用した時、XAFS を活用した研究分野でどのような成果を挙げ得るのか、どのような新しいサイエンスが期待できるのかを議論する予定である。また、日本 XAFS 研究会「XAFS 光源検討委員会」（委員長：分子研・横山利彦）からの報告も予定している。

こうした議論を通じて将来ビジョンを明確化し、XAFS 研究ひいては放射光科学がなし得る社会貢献を強く発信し、それを実現する次世代放射光源や新しいビームラインへの提案を行う機会としたい。

主催：高エネルギー加速器研究機構 放射光科学研究施設

協賛：日本放射光学会，他

日時：2014年7月11日(金)～7月12日(土)

場所：高エネルギー加速器研究機構 4号館1F セミナーホール

申し込み方法：KEK/PF の研究会ホームページ

(<http://pfwww.kek.jp/pf-seminar/xafs2014/>)にて申し込み下さい。

懇親会：7月11日(金)夜に予定しております。

問合せ先：masao.kimura@kek.jp（木村正雄）

## ■第42回 薄膜・表面物理セミナー（2014）

### 構造物性解明へ向けたマイクロ～マクロ計測の最前線

X線、電子、中性子は物質の微視的構造やマクロ状態の評価には欠かせないプローブです。近年、これらをベースとする計測法は飛躍的な進展を遂げ、大型放射光施設（SPring-8）、取差補正型電子顕微鏡や大型中性子施設（J-PARC）などに代表されるように、従来とは桁違いの精度・分解能での物質解析が可能となりました。

本セミナーでは、これらあらゆる最先端の計測技術を駆使して、最近注目を浴びている超高強度マグネシウム合金の構造・物性を、ミクロ～マクロに渡って系統的・包括的に評価する試みについて紹介します。この超高強度マグネシウム合金は、従来のマグネシウムと全く異なる特異な結晶構造（シンクロ型 LPSO）を有しており。新学術領域研究「シンクロ型 LPSO 構造の材料科学」にて現在精力的に研究が進められています。そこでは X 線、電子、中性子にとどまらず、3次元アトムプローブ法なども併用されるとともに、やはり近年進展の著しい第一原理計算が効果的に取り入れられるなど、同一の試料に対して極めて多角的に最先端計測・評価法が適用されています。それぞれの計測法の第一線の研究者を講師として招聘し、原子レベル～マクロ領域の評価技術を相互に対比しながら、各々の手法の利点、適用限界等を忌憚なく議論していただけるようなセミナーになればと考えています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

**主催**：公益社団法人応用物理学会 薄膜・表面物理分科会

**協賛**：日本放射光学会，他

**日時**：2014年7月25日(金) 10:00-17:30 (受付開始 9:30)

**場所**：東京大学本郷キャンパス 山上会館  
東京都文京区本郷 7-3-1, TEL: 03-3812-2111  
地下鉄丸の内線・本郷三丁目駅下車 徒歩12分

**参加費**：テキスト代，消費税を含む。

薄膜・表面物理分科会会員\* 10,000円

応用物理学会会員・協賛学協会会員\*\* 15,000円

学生\*\*\* 3,000円

その他 20,000円

\* 薄膜・表面物理分科会賛助会社の方は分科会会員扱いと致します。

\*\* 応用物理学会賛助会社の方は，応用物理学会会員扱いと致します。

\*\*\* 学生の場合は，会員・非会員の別を問いません。

現在非会員の方でも，参加登録時に薄膜・表面物理分科会（年会費 A 会員：3,000円，B 会員：2,200円）にご入会いただければ，本セミナーより会員扱いとさせていただきます。http://www.jsap.or.jp/join/kojin.html より入会登録を行い，仮会員番号を取得後，本セミナーにお申込み下さい。入会決定後，年会費請求書をお送りいたします。（年会費をセミナー参加費と同時に振込なさらないで下さい。）

**定員**：100名（定員になり次第締め切ります。）

**参加申込期間**：2014年4月1日(火)～7月11日(金)

**参加申込方法**：薄膜・表面物理分科会ホームページ (http://annex.jsap.or.jp/tfspd/) 内にある第42回薄膜・表面物理セミナーの登録フォームから参加登録をお願い致します。

**セミナー内容問合せ先**：

NTT 住友 弘二

TEL: 046-240-3457 FAX: 046-270-2364

E-Mail: sumitomo.koji@lab.ntt.co.jp

コベルコ科研 笹川 薫

TEL: 078-992-6043 FAX: 078-990-3062

E-Mail: sasakawa.kaoru@kki.kobelco.com

**参加登録問合せ先**：

応用物理学会事務局分科会担当 小田康代

TEL: 03-5802-0863 FAX: 03-5802-6250

E-Mail: oda@jsap.or.jp

## ■第17回 XAFS 討論会

**主催**：日本 XAFS 研究会 (http://pfwww.kek.jp/jxs/)

**協賛**：日本放射光学会，他

**日時**：2014年9月1日(月)～9月3日(水)

**場所**：徳島大学総合科学部  
〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町 1-1

**研究主題**：

X 線吸収微細構造 (XAFS) 及び関連現象に関する理論，解析方法，実験技術，基礎及び応用研究

**討論分野**：

- (1) XAFS 及び関連現象に関する理論
- (2) XAFS 及び関連現象に関する解析方法
- (3) XAFS 及び関連現象に関する実験技術
- (4) XAFS の化学への応用
- (5) XAFS の物理への応用
- (6) XAFS の材料科学への応用
- (7) XAFS の生命科学への応用
- (8) XAFS の地球環境科学への応用
- (9) その他 XAFS 関連研究

**討論会形式**：

招待講演 (3 件程度)，一般講演 (50 件程度)，ポスター発表 (40 件程度)

放射光施設報告・ユーザーグループミーティング

(SPring-8, KEK-PF, SAGA-LS, 分子科学研究所などを予定)

**参加予定数**：参加者136名 (昨年度実績)

**講演要旨集**：A4 版，本文約200ページ，印刷部数約250部

**発表申込締切**：2014年7月15日

**予稿原稿締切**：2014年7月31日

**事前参加登録締切**：2014年8月22日

**問合わせ**：

徳島大学大学院総合科学教育部 山本 孝

〒770-8502 徳島市南常三島町 1-1

Tel/Fax: 088-656-7263

E-mail: takashi-yamamoto.ias@tokushima-u.ac.jp

ホームページ: http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/jxafs17/ (予定)

## ■第54回 (2014年度) 真空夏季大学

**主催**：一般社団法人日本真空学会

**協賛**：日本放射光学会，他

**日時**：2014年9月2日(火) 12:00～9月5日(金) 12:00

**場所**：ヤマハリゾートつま恋  
〒436-0011 静岡県掛川市満水2000  
TEL: 0537-24-1111 http://www.tsumagoi.net/

**参加費**：

- ①一般 89,500円 (受講料 53,500円，宿泊費 36,000円)

②日本真空学会法人会員に属する個人及び真空夏季大学協賛団体会員

81,500円(受講料 45,500円, 宿泊費 36,000円)

③日本真空学会個人会員

69,500円(受講料 33,500円, 宿泊費 36,000円)

④日本真空学会学生会員

51,000円(受講料 15,000円, 宿泊費 36,000円)

いずれも、受講料には、テキスト・パワーポイント配布資料を含みます。宿泊費には、3泊4日食費等・消費税を含みます。

#### 申込手続:

申込受付は2014年5月7日(水)より行います。所定の申込用紙(日本真空学会ホームページおよびJVJS誌3号・4号に掲載)に必要事項を記入して、FAX・郵送又はE-mailでお申し込み下さい。申し込みを受け付けた方にはE-mailで通知の上、請求書を郵送します。請求書が到着しましたら、到着の日から起算して30日以内に参加費を請求書記載の口座に振り込んで下さい。受講票及びテキストは8月上旬に発送いたします。会費を振り込まれた後の「受講者の都合による取り消し及び不参加」の場合、払い戻しは致しません。ただし、参加者の変更は、差し支えありません。

#### 申込先:

〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館306号室

一般社団法人日本真空学会

TEL: 03-3431-4395 FAX: 03-3433-5371

E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org

http://www.vacuum-jp.org/

#### 申込締切: 2014年7月29日(火)

ただし、定員(120名)に達したときは締切日前でも締切ります。

申込状況は日本真空学会ホームページでご確認ください。

#### その他:

・一般参加または協賛団体会員と日本真空学会個人会員との会費の差額20,000円または12,000円は、日本真空学会個人会員の年会費(10,000円)以上に相当します。

真空夏季大学申込と同時に入会申込でも会員の参加費が適用されます。

入会を希望される方は、ホームページより入会申込み手続きをお願いします。

・各都道府県には「キャリア形成促進助成金制度」があり、条件により受講料が受給の対象となります。詳細は、各都道府県労働局にお問い合わせください。

### ■SPring-8 シンポジウム2014「New dimension of Science and Technology using SPring-8」SPring-8 による科学・技術の新次元

SPring-8の供用開始から17年になりますが、2019年を目途とする大規模なupgradeも見据え、高輝度・高機能化に向けた改造や特徴あるビームラインの建設が常に着実に進められています。その結果、世界のフロントランナーとして、数々の成果を創出し、放射光科学を牽引する役割を果たしています。SPring-8

が今後とも優れた成果を創出し続けるために、これまでの任意会員によるSPring-8利用者懇談会を発展させ、ユーザー全員が参加する「SPring-8 ユーザー協団体」(SPring-8 Users Community: 以下SPRUC)が2012年4月に創設されました。これは、学術界、産業界の利用者全員で組織されるものであり、SPring-8と連携して、施設や計測技術の先端性や利用システムの利便性の向上に寄与すると共に、科学技術の進歩、新学術、新産業の創成、更には、人材育成や社会の発展に寄与することを目指しています。

このSPRUCの中心的な活動の一つとして、SPring-8 シンポジウム2014を開催します。SPring-8 シンポジウムは、様々な分野にわたるユーザーの科学技術的交流の場として、学協会、SPRUCを構成する代表機関、SPring-8 施設者(物理化学研究所)・(公財)高輝度光科学研究センター)と共に開催されるものです。一昨年は大阪大学、昨年は京都大学で行われました。

今回の東京大学でのシンポジウムでは新しい次元の開拓を目指し、生物系では時間軸の獲得と微小結晶への展開に関する講演を予定しています。物理系では極限分光と新たな手法開発に焦点を当て、基礎物性・物性応用研究を紹介します。一方、産業界からは、とくに注目を集めているIT創薬と材料の耐久性向上に向けた放射光の利活用を紹介します。さらに、SPring-8の多彩なビームラインの選択の助けとなるよう、施設側からの包括的な説明と、ユーザーの利便性・分野開拓に資する調査研究の報告も行います。これらの様々な取り組みを通して、SPring-8の発展的な利活用の方向性について議論し、深めていくことを目指したいと思えます。学術界のみならず、産業界の研究者や技術者の参加により、将来のSPring-8の活性化に向けた議論ができることを期待しています。

主 催: SPring-8 ユーザー協団体 (SPRUC), (公財)高輝度光科学研究センター, 物理化学研究所, (国)東京大学

協 賛: 日本放射光学会, 他

日 時: 2014年9月13日(土)~14日(日)

場 所: 東京大学本郷キャンパス 弥生講堂/一条ホール他  
〒113-0032 文京区弥生 1-1-1

詳 細: <http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2014/sp8sympo2014/>

#### ■第55回高圧討論会

主 催: 日本高圧力学会

協 賛: 日本放射光学会, 他

日 時: 2014年11月22日(土)~24日(月)

場 所: 徳島大学常三島(じょうさんじま)キャンパス  
(徳島市南常三島町2-1)

<http://www.tokushima-u.ac.jp/access/>

shinkura\_josanjima/

#### 交 通:

○徳島空港よりJR 徳島駅へ

・リムジンバス約30分(「徳島駅」行乗車, 終点で下車)

○JR 徳島駅より

・路線バス約20分徳島駅前より徳島市営バス「島田石橋」行, 「商業高校」行乗車, 「助任橋」又は「徳島大学前」又は「徳

島大学南」下車徒歩 5 分

- ・徒歩約30分
- ・タクシー約10分

分野：高圧力の科学と技術に関する次の分野：

- ①高圧装置・技術 ②固体物性 ③固体反応 ④流体物性 ⑤流体反応 ⑥地球科学 ⑦生物関連 ⑧衝撃圧縮（ただし④, ⑤, ⑦には溶液, 界面, および食品を含む）
- ⑨シンポジウム「生物関連高圧シンポジウム」（仮題）
- ⑩シンポジウム「デザイナー流体の高圧力科学」（仮題）

発表形式：口頭発表, ポスター発表

特別企画：特別講演を予定

講演申込締切：7月18日（金）

参加登録予約締切：

10月9日（木）締切後は当日申込にてご参加ください。

参加費：

- 本会, 共催・協賛学協会会員 (4,000円), 非会員 (6,000円)
- 本会, 共催・協賛学協会学生会員 (2,000円), 非会員学生 (3,000円)

（当日申込の場合は各1,000円増しになります。）

要旨集：5,000円

懇親会：11月23日（日） 18：00より（予定）

申込先：

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4  
大阪駅前第4ビル9階 923-674号  
株式会社ポラリス・セクレタリーズ・オフィス内  
第55回高圧討論会事務局  
Tel：070-5658-7626  
Fax：020-4665-8596/06-6345-7931  
E-mail：touronkai55@highpressure.jp

実行委員会：

〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1  
徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部  
魚崎泰弘（化学応用工学科）実行委員長  
Tel：088-656-7417  
E-mail：uosaki@chem.tokushima-u.ac.jp  
ホームページ：http://www.highpressure.jp/new/55forum/

## ■新刊紹介

### ■X線・中性子の散乱理論入門

著者：Devinder S. Sivia/著, 竹中章郎・藤井保彦/訳

出版社：森北出版(株)

ISBN 番号：978-4-627-15471-1

定価：本体3,600円+税

### ●会誌オンライン利用方法に関するご案内●

編集委員長 木村昭夫  
渉外幹事 濱 広幸

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr273

Password : gpE3bcm8

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧 をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、濱 (hama@lns.tohoku.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、木村 (akiok@hiroshima-u.ac.jp) までお願いします。